

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	イオンリテール株式会社		
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1		
工場等の名称	イオンモールナゴヤドーム前		
工場等の所在地	名古屋市東区矢田南4-102-3		
業種	卸売業、小売業		
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店		
建築物の所有形態	賃貸ビル等(賃貸している建築物)		
事業の概要	ショッピングセンター		
計画期間	令和4年4月1日	～	令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和5年12月1日			～	令和6年2月29日
公表方法	○	掲 示 閲 覧	(場所)	3階	SC管理事務所
		ホ ム ペ ー ジ			(HPアドレス)
		冊 子			(冊子名・ 入手方法)
		そ の 他			(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-725-6500				

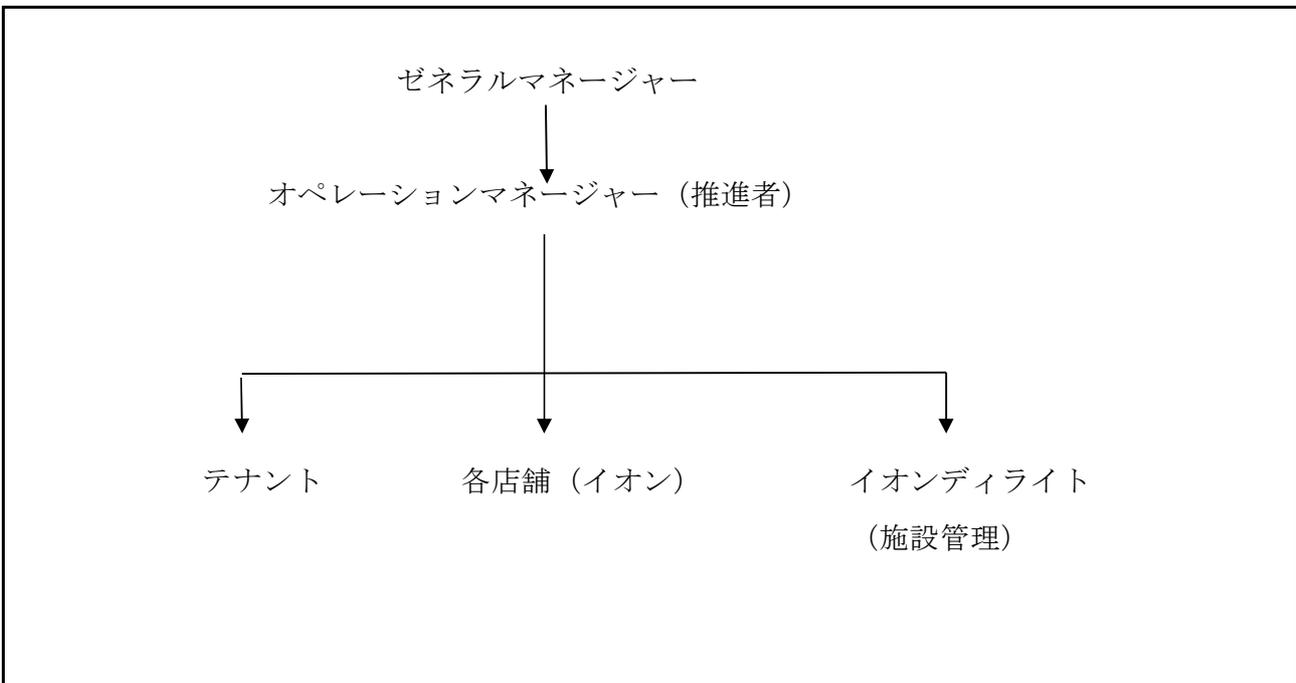
3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当社は地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し、エネルギー使用の合理化に関する法律による活動と合わせて事業展開を実施します。

- ①省エネルギー活動の推進
電気、燃料等の営業時間あたりのエネルギー使用量を毎年 1 %削減する努力をします。
- ②従業員への環境教育の推進
環境目標を全員参加で取り組みます。
- ③廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目 (令和 4 年度) の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		7,146	t-CO ₂
① 温室効果ガス 換算 排出量 (二酸化炭素を 除く)	②非エネルギー起源二酸化炭素 (③を除く。)		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素 (発電所等配分前)		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量 (①~⑩合計)		7,146

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂				
削減率 (対 基準年度)			%	%	%	%	%	%
温室効果ガスみなし総排出量					t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率 (対 基準年度)					%	%	%	%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
原単位あたりの排出量	1.462	t-CO ₂ / h	1.418	t-CO ₂ / h	1.305	t-CO ₂ / h	t-CO ₂ / h	t-CO ₂ / h
削減率 (対 基準年度)			3.0	%	10.7	%	%	%
原単位あたりのみなし排出量					t-CO ₂ / h			
削減率 (対 基準年度)					%	%	%	%

(2) 進捗状況に対する自己評価 (目標の達成/非達成の理由)

1年間での削減目標が1%減であるが令和4年度は4.4%の削減を実現した。削減要因としては、空調熱源の運転調整や共用部、各店舗の空調フィルター清掃の頻度アップによる負荷削減が考えられる。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動の実践 【点検及び運転管理の見直し】	<ul style="list-style-type: none"> 空調熱源(ターボ冷凍機)の定期的な保守整備により、高効率運転を行う。 中間期・冬季は外気冷房を活用し熱源稼働時間の短縮に努める。 	空調熱源の年間使用電力量を毎年1%ずつ削減する。	特に中間期での外気冷房を積極的に活用し熱源稼働時間の短縮となった。
省エネルギー・省資源の行動の実践 【運転の効率化】	<ul style="list-style-type: none"> 空調フィルター清掃・内部フィン洗浄を計画的に実施し、高効率運転を行う。 高性能フィルターへ更新し、効率化を図る 	共用部・各店舗の空調フィルター清掃は年6回、内部フィン洗浄は2~3年周期で実施する。	共用部・各店舗の空調フィルター清掃を2か月毎に実施し年間で6回とした。また内機洗浄を過去3年間実施していない店舗への案内と洗浄を実施。
省エネルギー・省資源の行動の実践 【照明】	<ul style="list-style-type: none"> スポットライト・間接照明・装飾照明などについて、不要な照明を消灯する。 照明スケジュール設定を見直しを行い点灯時間の削減に努める。 		共用部の間接照明・装飾照明を再度見直し点灯が不要な場所を消灯。
省エネルギー・省資源の行動の実践 【照明】	<ul style="list-style-type: none"> 店内照明をLED器具に更新する。 テナント照明のLED化をすすめる。 		各店舗へ照明のLED化を積極的に提案。共用部では吹抜け照明をLED化を実施。
省エネルギー・省資源の行動の実践 【空調機器】	<ul style="list-style-type: none"> 省エネタイプへの機器更新 		令和5年度に空調機の入替を実施予定。

指針第 2 号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (令和 4 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 1 年度目 (令和 4 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

外壁照明の消灯
